

警察官をかたる 詐欺が急増中です

小諸市内でも警察官等をかたる「オレオレ詐欺」が多発しています。ビデオ通話等で偽の逮捕状や警察手帳を示し、捜査名目でお金をだまし取る手口です。犯人は言葉巧みにあなたのお金を狙っています。被害を防ぐため、不審な連絡があった際はまずは落ち着き、すぐに家族、周囲の方、警察へご相談ください。

☎ 小諸警察署 ☎ 22-0110



小諸市で発生した事例

R7/9月中旬～10月中旬の間、高齢者女性が、警察官や検察官を名乗る男から「逮捕した男が、あなたにお金を渡したと言っている。このままだとあなたの口座が凍結する。」などと電話で言われ、複数回にわたり、自宅敷地内に現金合計1,100万円を置き、だまし取られました。

「電話でお金詐欺」の被害の4割は、一本の電話から始まっています。特に最近は警察官等を名乗り、捜査（優先調査）名目で現金等をだまし取る「ニセ警察詐欺」による手口が顕著です。犯人側は「守秘義務が課せられている」などと被害者を脅すことで、周囲に相談できない状況をつくって孤立させ、被害に気付きにくい状況を作りだします。また、「逮捕を免れるためには全財産を調べる必要がある」などと資金調査を名目とし、被害者の全財産をだまし取ることで、被害額が高額化しています。※1件当たりの平均被害額97.5万円（令和7年10月末現在）

最近の「電話でお金詐欺」の特徴

！こんなケースは要注意 本物の警察は絶対に以下のことはしません

01 絶対にお金を
請求しません



本物の警察官が金銭を要求することは絶対にありません。もしも電話等でお金の話が出た場合は、すべて詐欺を疑ってください。

02 絶対にSNSでメッセージを
送ることはありません



LINE等のSNSを使い、ニセの逮捕状やメッセージを送信し、被害者を騙そうとする手口が増えていきます。ご注意ください。

03 絶対にビデオ通話を
しません



SNSのビデオ通話を用いて、ことば巧みに被害者を騙したり、ニセの逮捕状を提示するなどの手口も増加しています。